

各 位

平成14年10月29日

会 社 名 豊和工業株式会社
コード番号 6203
問合せ先 常務取締役総務部門長
土井裕美
TEL (052) 408 - 1001

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年5月23日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 15年3月期中間業績予想数値の修正（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月23日発表)	12,500	120	100
今回修正予想(B)	12,100	230	190
増減額(B - A)	400	110	90
増減率	3.2	91.7	90.0
前期(平成14年3月中間期)実績	12,917	478	321

2. 15年3月期連結中間業績予想数値の修正（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成14年5月23日発表)	14,300	130	100
今回修正予想(B)	13,900	300	210
増減額(B - A)	400	170	110
増減率	2.8	130.8	110.0
前期(平成14年3月中間期)実績	14,637	423	368

3. 理 由

売上高は前回予想を若干下回りますが、販売経費の削減等により経常利益は上記のとおりとなる見込みです。また、投資有価証券評価損約6千万円(単独・連結)、ゴルフ会員権評価損(単独;約3千万円,連結;約6千万円)、固定資産処分損約3千万円(単独・連結)、貸倒引当金繰入額約5千万円(連結)をそれぞれ特別損失に計上しますが、貸倒引当金戻入等の特別利益(単独;約9千万円,連結;約1億2千万円)を計上するため、中間純利益については上記のとおりとなる見込みです。

なお、平成15年3月期の通期の業績は、単独・連結とも前回予想とほぼ変わらない見通しです。

4. 投資有価証券評価損について

当社が保有する「その他有価証券(財務諸表等規則第8条第21項に規定するその他有価証券をいう)」について金融商品に係る会計基準に基づき、平成15年3月期中間期末における投資有価証券評価損を算出した結果、以下のとおりとなりました。

(A) 平成15年3月期中間期末の投資有価証券評価損の総額	59百万円
(B) 平成14年3月期の純資産の額 (A/B×100)	12,993百万円 (0.5%)
(C) 最近5事業年度の平均経常利益額 (A/C×100)	438百万円 (13.5%)
(D) 最近5事業年度の平均当期純利益額 (A/D×100)	188百万円 (31.4%)

5. ゴルフ会員権評価損について

当社及び連結子会社が保有するゴルフ会員権について、金融商品に係る会計基準に基づき、平成15年3月期中間期末において減損処理を行なったものであります。当社保有分の評価損約3千万円(単独・連結)及び連結子会社保有分の評価損約3千万円(連結)については、平成15年3月期中間期においてそれぞれ特別損失に計上いたします。

6. 固定資産処分損について

平成14年3月13日にお知らせしましたとおり、当社は繊維機械事業から撤退いたしました。これに伴い不要となった機械等を売却又は廃却したことにより、約2千万円の処分損が発生しました。

また、平成14年9月13日にお知らせしましたとおり、当社は株式会社豊田自動織機に土地を譲渡することといたしましたが、この土地を更地にするために現存する建物等を解体撤去した費用が約1千万円発生しました。

これらの処分損約3千万円については、平成15年3月期中間期(単独・連結)において特別損失に計上いたします。

7. 子会社に係る債権の取立不能のおそれについて

当社の連結子会社である豊友物産株式会社が、当社の非連結子会社であるホーワ機械株式会社(清算中)に対して有する債権について、一部取立不能となる見込みとなりましたのでお知らせいたします。

(1) 連結子会社の名称等

名 称 豊友物産株式会社
所在地 愛知県西春日井郡新川町

(2) 非連結子会社の名称等

名 称 ホーワ機械株式会社
所在地 ブラジル国サンパウロ州モジ・ダス・クルーゼス市

(3) 連結子会社の非連結子会社に対する債権の種類及び金額

売掛金 103百万円
未収入金 8百万円

(4) 経緯及び損益に与える影響

豊友物産株式会社は、清算中であるホーワ機械株式会社に対する債権を、同社残余財産の売却代金により回収する予定でありましたが、平成14年3月末から平成14年9月末にかけて、レアルが円に対して約43%も下落したため、上記債権の一部が取立不能となる見込みとなりました。

この取立不能見込額約5千万円については、平成15年3月期中間期(連結)において貸倒引当金繰入額として特別損失に計上いたします。